

今井哲二 学術論文・著述類リスト

平成15年12月

今井 哲二

## はじめに

静岡大学定年（平成元年3月）を前にして、様々な私大から招聘を受け、中には著名な先生が三顧の礼を尽くして招いて下さる例もあり、大いに恐縮した。その中で最初に声をかけて頂いたのが、小生の研究活動の原点とでも言うべき『電子放射研究会』の委員長を昭和20年代に務められた竹谷謙一先生であった。竹谷先生はNHK技研から電気通信大学に移られて、同大の電子工学科を立ち上げ、学生部長などの役職を経て定年退官後、当時は明星大学・理工学部電気工学科の主任をしておられた。理工系の分野では、学会的に明星大学の名を知るものは当時殆ど居ないといってもよく、少なくとも理工系では無名に近い大学であった。このことに対しては大きな拒絶反応もあったが、竹谷先生が昔の研究仲間の先輩であるという気安さ、それに何よりも真先に声をかけて頂いたのも何かの縁と思い、お誘いを受けることにした。その後は、上記のように多くの他大学から受けた招聘は全てお断りした。

明星大学では情報学部を青梅地区に新設し、「電子情報学科」教授要員として協力して欲しいとのことであった。種々の事情で情報学部の発足は遅れ、平成元年～3年度の間は日野市にある理工学部電気工学科勤務となった。既設の大学院博士課程も兼務であった。平成4年度からは「情報学部」電子情報学科勤務となった（本リスト中平成4年4月に記載されている職歴には、これが反映し複雑な表現となっている）。平成10年度より情報学部にも大学院修士・博士コースが発足することになり、大学院担当有資格者は研究業績リストを提出することになった。大学側の要請したフォーマットに基づいて作成した業績などのリストが“（平成8年末）となっている冊子状のもの”である。大学院設置直前に大学側の定年制度が突如変更となり、平成10年3月末を以って私は大学を定年退職した。結果として、本リストは目的に添うものとはならなかった。

昭和20年11月逓信省電気試験所に職を奉じ、そこに端を発した私の研究生活の丁度半世紀に亘る活動状況の概要が、このリストに盛られている。半世紀の集約という意味では、このリスト作成それ自身は時宜を得たものであった。

大学を去り、公職を離れてから5年余が経った。平成15年・満77歳というこのときに、既製のリストで漏れたかなりの数の研究・解説論文等を加えると共に、このリスト作成後にまとめた幾つかの論文や著書などを追記し、改めて冊子とした。後者の追記部分については、「補足」として「別掲資料類」も付記し、より詳細な内容紹介を行ってある。

60年近くになろうとする研究・教育・著述活動の概要を凝縮して示した冊子になり得ればと思い、不十分な整理ながらここに纏めることにした。

## 構 成

職歴・学会活動・研究業績などのリスト 1～33 頁

追加論文・補足資料類 1～26 頁